

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	おがわ わたる		
氏名	小川 和		
所属	SAS合同会社		
役職	代表社員		
活動エリア	全国		
連絡先	住所	〒	251-0044 神奈川県藤沢市辻堂太平台2-8-1-233
	電話番号	090-8305-7463	
	メールアドレス	ogawa@sas2020.com	
キャッチコピー	食と歴史文化 地域で特色のある資源を活用した地域活性化		
自己PR	農業から流通・小売まで「食」の分野を中心に、事業企画、新規事業立ち上げ、マーケティング、商品企画・開発、販路開拓支援などの事業に多数従事してきました。地域活性化プロジェクトへの参画が増えるにともない、食を中心に、その他、観光や教育・文化へと活動領域を拡げて活動・展開しております。地域活性化の取り組みには時間がかかるゆえに、取り組みの継続性と成果の持続性・拡張性を重視し、そのためにも地域での体制構築による基盤づくり、参画する地域プレイヤーの共感・協働の創出、を柱とした地域支援を重視しております。できるだけ一過性のアドバイスに留まらず、地域の方々に伴走、共に事業を推進しながら作り上げていく、という活動姿勢を大切にしております。		
関連ホームページ	名称	アドレス	
2. 略歴・受賞歴			
略歴・受賞歴	<p>神奈川県藤沢市出身</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成7年：慶應義塾大学総合政策学部 卒業 ◆平成13年～20年：外資系大手飲食事業会社にて、商品開発、マーケティング戦略策定等に従事 ◆平成20年～28年：農業ベンチャー、飲食事業の共同経営、教育関連のコンサルティングに従事 ◆平成29年～現在：地域プロデュース業務に従事 ◆平成29年～現在：文化庁日本遺産魅力発信事業 日本遺産プロデューサー ◆令和元年：中小企業庁商店街活性化・観光消費創出事業 外部専門家（沖縄県沖縄市、福島県猪苗代町） ◆令和2年 SAS合同会社設立 代表社員就任 ◆令和2年～現在：資源エネルギー庁原発立地地域活性化事業 敦賀市・嶺南地域スマートエリア整備計画事業 マネージャー ◆令和2年～現在：大分県中津市・玖珠町日本遺産アドバイザー ◆令和2年～現在：水産庁復興水産加工業販路回復促進センター被災地水産加工業プロモーション事業 マネージャー ◆令和4年～現在：水産庁水産業復興販売加速化支援事業 テレクター ◆令和3年～5年：地域再生マネージャー（栃木県下野市） ◆令和4年～6年：地域再生マネージャー（千葉県銚子市） 		
3. 取組分野			
● 観光	（歴史文化等の地域資源を活用したコンテンツ造成支援、教育旅行等の造成支援、DMC等核となる体制構築支援）		
● 移住・定住・関係人口	（関係人口増加のための地域民間プレイヤーを巻き込んだ体制構築支援、ワークショップファシリテーション等）		
● 農林水産業	（農産品や水産品を活用した加工品のマーケティング・開発支援、加工商品の販路開拓支援等）		
起業支援	（		
まちなか再生	（		
集落再生	（		
環境	（		
その他	（		
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家 （活用助成）	<ul style="list-style-type: none"> ◆2022～24年度 千葉県銚子市「銚子資産を活かした学びでつながる関係人口創出事業」 ◆2021～23年度 栃木県下野市「東の飛鳥による歴史文化を活かしたまちづくり事業」 		



5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 : 日本遺産魅力増進事業 日本遺産『鬼が仏になった里「くにさき」』事業支援 (2)対象地 : 大分県豊後高田市・国東市 (3)事業目的: 日本遺産を活用した観光事業の活性化、インバウンド誘致の強化、地域ブランドの訴求力向上 (4)事業内容: ①: 日本遺産ストーリーを活用した高付加価値観光コンテンツ開発 ②: 日本遺産認定のユークベニューにおける観光コンテンツ開発 ③: 日本遺産ストーリーとリンクした食のブランディングコンセプトブック作成 ④: インバウンド向けファミトリップ実施(フランスの大学との協業によるフランス人誘客) (5)事業による成果: ①コンテンツ商品の開発、福岡を中心とした商品販売・誘客体制の構築 ②地域プレイヤーや近隣大学との協業によるコンテンツ開発、各商品へのコンテンツ組み込み ③ブランドブックの発刊、ブランドブックを活用した地域内食関連事業者への周知活動 ④ファミトリップ実施時のフランスWebメディアとの関係構築、フランスからの誘客動線の構築</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 : 銚子資産を活かした「学び」でつながる関係人口創出事業 (2)対象地 : 千葉県銚子市 (3)事業目的: 事業推進のための自走体制構築、持続可能な文化財保護の仕組みの構築、自走に不可欠な収益獲得のための体験コンテンツ開発と情報発信 (4)事業内容: ①地域プレイヤーの連携による体制づくり(組織体制整備、パートナーシップ制度の構築) ②「銚子資産」を活用した体験コンテンツ開発による「学び」ツーリズムの育成・促進 ③情報発信による地域ブランディング (5)事業による成果: ①「学び」ツーリズム企画・販売・運営のための地域組織の立ち上げ(令和7年度から自走)、パートナーシップ制度による寄付制度の構築 ②「学び」体験コンテンツ造成と旅行会社との協業による誘客体制の構築 ③Webサイトリニューアル、地域プレイヤーによるコンテンツ制作・発信</p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1)事業名 : 水産庁復興水産加工業販路回復促進センター被災地水産加工業プロモーション事業 (2)対象地 : 青森県・岩手県・宮城県・福島県・茨城県・千葉県 (3)事業目的: 東日本大震災の被災地における水産加工業の販路回復 (4)事業内容: ①水産加工品のBtoB向けマッチング事業 ②水産加工品を活用したBtoC向けマッチングおよび商品開発・プロモーション事業 ③産地ツアーの実施 (5)事業による成果: ①首都圏EC卸事業者とのマッチングによる小売年間売上1億円規模のマッチング ②首都圏・名古屋・関西・福岡の飲食事業者約130店舗での加工商品を使用したメニュー開発とそのプロモーションフェアの実施 ③首都圏・名古屋・関西・福岡から計80名の卸・飲食関係者を招致した三陸エリアへの産地ツアーの企画・実施</p>
	<p>※上記以外の取組内容・実績</p>